

農業活性化草案

事業目的：

いずれの事業も目的は「**長岡農業のサポーターの育成**」になります。

「サポーター」とは長岡農業について理解し、具体的に農業を活性化するための行動を起こす人のことを指します。

サポーターは、長岡農業を通じて自分の満足感を満たす（安全、安心、美味しい、旬、情報等）ことにより農業と密接になり、購入・体験などの経済的活動を行う。

農業者は、サポーターの満足感を満たすために、より工夫を行い、信頼を得ることで、その結果として経済的な富を得ることができる。

一連の流れを「遊ぶ」、「学ぶ」、「伝える」、「儲かる」、「食べる」、「繋ぐ」、「感じる」ことにより促していきます。

各事業は10月開催の予定です。

①草案名：「バーチャル農業ツアー」

概要：

長岡市内の農作物や生産地域、風景や農業に関わる文化（お祭り等）をデータベース化し、長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」内の地図上にデータを埋込み、農業に関わる情報について端末を使って閲覧できるようにする。数箇所のポイントを見ることで各農場のものを手に入れることができるなど宝探しの要素をいれるのも面白いかもしれません。

→季節を問わず様々な人に楽しみながら長岡農業について知ってもらい、理解を深めることができる。

「長岡農業のサポーター育成」に関わるカテゴリー

[「遊ぶ」](#)、[「学ぶ」](#)、[「伝える」](#)

②草案名：「農業を学ぼう！フォーラム」

概要：

「食の本質」と「味覚教育の大切さ」等食育などの観点から講師をお呼びしてお話頂き、併せて最後に1年間当事業で行なってきたことの発表と長岡農業活性化に関する提言を行う。

→参加者にフォーラムを通じて「学ぶ」ことで、農業や食に関する知識を身に付けてもらい、長岡農業活性化の提言を聞くことで具体的にどのように長岡農業に関われるかを考えて頂く。

「長岡農業のサポーター育成」に関わるカテゴリー
[「学ぶ」](#)

③草案名：「長岡の農作物を味わう！（長岡版美味しんぼ）」

概要：

長岡の「旬」である1つの農作物をテーマに各飲食店にメニューを作成して頂き、発表してもらおう。メニュー作成までに農業者と飲食店とのマッチングを行う。

→今後「旬」毎にテーマである農作物を替えて実施し、飲食店の対決などもできるかも。PR等により長岡市外からも集客ができる可能性あり。

「長岡農業のサポーター育成」に関わるカテゴリー
[「儲かる」](#)、[「食べる」](#)、[「伝える」](#)、[「繋ぐ」](#)

④草案名：「未来の長岡農業のサポーターに向けて発信！発信！」

概要：

当事業のネット、Facebookを用いた発信、元気な長岡プロデュース事業冊子の作成（農村文化・食文化、飲食店、レシピ、農家の顔、考え、人柄等紹介）

→長岡市内、市外問わず長岡農業についての発信を行い、サポーターの獲得を促す。

「長岡農業のサポーター育成」に関わるカテゴリー
[「伝える」](#)